

「今日実習に来ている事を、多くの職員さんが知ってくれている」とでも言うのでしょいか、なんとも言えない「心地よさ」を感じました。それと同時にウチ（こころの窓）

受け入れる我々への影響と云えば、こうした外部の目に晒され、素朴な疑問（特に福祉業界以外の人の疑問は大それたと思いません）に触れる事

「他人事」ではなく、「我が事」として、外部との関わりを意識することが大事だと思えます。よく「報告・連絡・相談（ほうれんそう）」が出来ていないと言つと、下から上へ情報が流れない事の欠陥を言いますが、同時に適切に上から下に情報が流れるようにしなければ、職員一人ひとりにこうした「我が

事」感覚は育たないと思えます。二部の職員だけが知っている」ではなく、来訪者等の情報が行き渡るようなシステム作りが出来ればと思えます。「我が事」としてお迎えする感覚を職員一人ひとりが持ち合わせていることが、自然な挨拶や、何気ないやりとりで表れる「心地よさ」の正体なのではないかと思えます。

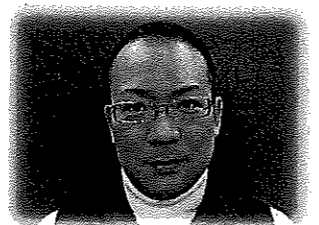
社会福祉法人こころの窓 事業概要

- 青い鳥
- ヴィラージュあゆみ
ヴィラージュあまね
- ショートステイあかね
- 相談支援事業所青い鳥
- 青い鳥初芝教室
- ショップ青い鳥

就労継続支援事業B型 定員30名
 生活介護事業 定員70名
 グループホーム(共同生活援助事業) 10ヶ所 定員49名
 ショートステイ(短期入所事業) 定員12名
 相談支援事業
 児童発達支援事業・放課後等デイサービス 定員10名

KoKoRo no MaDo
 Social Welfare Organization

理念
 愛と英智で 人に添い
 愛と英智で 事に当たり
 愛と英智で ともに生きる



共同生活援助 管理者
 西尾智樹

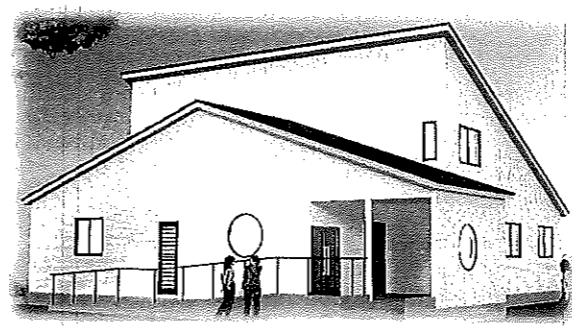
心地よさ・我が事・他人事

支援学校高等部2年になる長男のために、ある事業所の実習に付き添って行きました。実習自体はお陰様で、何とか無事終了しました。長男の障害特性に合うような作業所かどうかは、障害者支援に対する考え方や、実際に作業等の現場を見て判断したりするのはもちろんなのですが、その時私が事業所の職員さんと交わした、何気ないやりとりを、かなりのウェイトで評価している自身の気持ちがありました。それは障害について専門的な知識やノウハウを教わったとかではなく、只何気ない自然な挨拶や、会話で

外部から事業所実習や見学を受け入れることは、こころの窓を通じて、支援学校の実習生は、支援学校卒業後の自分の生活を、見学者は、福祉施設の一つの具体像をイメージする事になります。そして最近では教員を目指す大学生さんが実習に来られますが、学生さんにとっては、こころの窓を通じて、「福祉の仕事」をイメージすることになります。今や社会福祉法人は、特定の利用者さんが、サービスを利用する場としてだけでなく、広く地域に開かれた社会資源としての役割を担うことが期待されています。大袈裟にいうならば、イメージ次第で次世代の人財獲得の多寡にも影響するとも言えます。

こころの窓へは日々、これらの研修、見学の他、ご家族の懇談会、調査、その他多くの方が来訪されます。それを全職員が同じレベルで全てを把握するのは不可能ですが、職員一人ひとりがそれを「他人事」ではなく、「我が事」として、外部との関わりを意識することが大事だと思えます。よく「報告・連絡・相談（ほうれんそう）」が出来ていないと言つと、下から上へ情報が流れない事の欠陥を言いますが、同時に適切に上から下に情報が流れるようにしなければ、職員一人ひとりにこうした「我が

長男と実習で行った事業所も、残念ながら定員を大幅超過で、卒業後入所出来る見込みはゼロですが、こうしていい事業所である、と外部の人間に評価される事は、サービスを選ぶ時代にあつて、今後大きな財産となるでしょう。こころの窓もいい事業所に行きたい事業所と常に思われ続けられたいものです。かく言う私も机に向かっていて、全然来訪者に気がつかずたり、失礼にも見学者が来られ、事前に把握しておらず慌てたり等、日々失敗があります。このような他人事の状態では、「心地よさ」をお持ち帰り頂けないでしょう。他人に偉そうに言った手前、私も自然に外部との関わりを「我が事」と受け止めることが出来るよう、今一度意識し直したいと思えます。



障がいをもつ方々が住み慣れた町で暮らし続けるための
 地域づくり・ホーム整備

平成30年春 堺 美原の地では 初となる

社福) こころの窓のグループホームが 誕生します
 ホーム事業へのご支援 お願い申し上げます

すごうホーム完成イメージ

法人内研修「救命・救急講習」を実施しました！

平成29年10月28日(土曜日)に、法人職員(青い鳥スタッフ、ショートステイスタッフ、ホームスタッフ)を対象に『救命入門コース』として、堺市消防局警防部救急課の救命講習担当の職員さんを青い鳥に招き、研修を行いました。昨年度も法人で実施した研修ではありますが、いざという時に利用者さんの生命を守る重要な研修として位置付けて、毎年実施をしています。救命で大切なAEDの使用法・胸骨圧迫を重点に消防局の職員さんも身振り手振りで懸命にスタッフに講義をしていただき、とても充実した研修となりました。



青い鳥 新作スイーツ♡「紅茶マフィン」♡



早いもので、もうすぐ12月！今年もあと1ヵ月余りとなりました。日に日に気温も下がり、暖房を使いだし、温かい飲み物が欲しくなる季節、まさに冬の到来！
 ところで皆さん、温かい飲み物では何が大好きですか？コーヒーや緑茶など温かく美味しい飲み物はたくさんありますが、オシャレに紅茶が好きな方は多いのではありませんか？今回紹介するのは、そんな紅茶好きの方には、特におススメの「紅茶マフィン」です！
 アールグレイの紅茶葉を使用し、更に牛乳も混ぜ込んであるので、まるで「ミルクティー」ような味わいを出しています。
 食感見た目と違い、モチっとしており、この冬おすすめ製菓商品です。

1個 150円

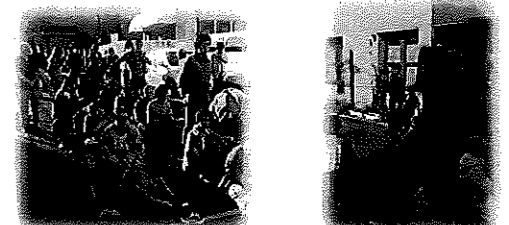
消防訓練をしました！

平成29年11月2日(木曜日)に年に1度の『消防訓練』を実施しました。東消防署より消防士の方々が、あの赤い本物の消防車に乗り、来訪されました。皆さん嬉しくて興奮気味でした。

厨房より出火したというシミュレーションのもと、本当に119番にかけ(あくまで訓練の一環です)、火事及び消防車の要請等を職員が練習しました。

利用者の皆さんは職員の誘導のもと、頼もしくも(?)非常ベルの音や館内アナウンスにも動じず、施設から避難し、敷地内駐車場へ逃げる事ができました。駐車場へ避難後は、消防署職員の方より、避難するうえでの注意点等の説明を受けました。

消防署の方が来たことにより、青い鳥が毎月、実施している『避難訓練』とは異なり、いつもより緊張感を持ちつつ、利用者さん、職員とも訓練をすることができました。



今日も健康

毎年、11月頃から広がり始めるインフルエンザ。インフルエンザの典型的な症状が現れないよう、まずは予防が大切です。

<予防>

- ワクチン接種・・・インフルエンザの発症、重症化のリスクをさげます。
- マスクの着用・・・主な感染経路は飛沫感染です。鼻や口からのウイルスの侵入を防ぎましょう。
- 手洗い・うがい・・・手やのどに付着したウイルスを洗い流しましょう。

急にしんどくなってきた。。。
頭も痛いなあ。。。
なんだか体の節々が痛いなあ。。。
咳や鼻汁も出てるのも痛いし。。。
熱が38℃以上もある！“

えっ？ インフルエンザ！？



(看護師：谷口 裕子)

COOKMADO

寒い日も続いており、風邪やインフルエンザなども流行る季節になりましたね。免疫力が低下するとこれらの病気にかかりやすくなってしまいます。栄養学の世界では、残念なことに特定の栄養素や食品を摂取すれば免疫力が格段にUPするというのは明確にはまだ発見されていません。しかし、日々の生活において良好な栄養状態を保つことで自身の持つ免疫力を最大限に発揮できるのではないのでしょうか。そのためには、それぞれの栄養素をバランスよく摂取することが重要です。また、免疫細胞の約6割が腸にあるといわれています。腸内環境を整えることも免疫力を高めることに繋がるかもしれません。腸内環境を整えるのに有効な食品には発酵食品(ヨーグルト・納豆)・野菜(食物繊維)・魚(魚に含まれる脂 n3系脂肪酸)・オリゴ糖などがあります。今回はヨーグルトを使用したこんなデザートはいかがでしょうか？

ヨーグルトで作るクレームダンジュ

【材料 (4人分)】

- プレーンヨーグルト 400g (1パック)
- 生クリーム(植物性でも可) 100ml
- オリゴ糖 (グラニュー糖や砂糖でも可) 大さじ1
- お好みのフルーツソース 適量

【作り方】

- ① キッチンペーパーを敷いたざるをボウルに重ね、ヨーグルトを入れて4時間〜一晩水切りをする。
- ② ボウルに生クリームとオリゴ糖を入れ、泡立て器でつのがたつくらい泡立てる。
- ③ ①のヨーグルトを別のボウルに入れ、②を少しずつ加え、泡立て器でなめらかになるまで混ぜ合わせる。
- ④ 器に盛り、お好みのフルーツソースをかければ完成！！

(管理栄養士：山勝 泰子)

事業紹介

《生活介護事業》

青い鳥の生活介護事業では、作業活動とレクリエーション及び外出活動を通して作業スキルの向上、日常生活動作(ADL)の習得、心身の充実などを図り、社会の一員として豊かで生きがいのある生活を目指しています。

作業活動では、仕上げた作業にだけ着目するのではなく、仕上げるまでの段階を支援員と一緒に一つずつ時間をかけて取り組み、その中で日常生活動作の向上を同時に目指しています。また、わずかな作業スキルや日常生活動作の向上が見られた場合は、利用者様の自信に繋がるよう皆と一緒に喜びを共有しています。



さをり織り



民謡



ミュージックケア



カラオケ

レクリエーション及び外出活動では利用者様の心身に快い刺激を与え、安心できる場と利用者様同士の関係性を獲得し、生活意欲の喚起や助長へと繋がっていくようにプログラムを実施しています。レクリエーションのプログラムとしては【散歩・プール・ドライブ・手話・さをり織り・創作・民謡・ミュージックケア(音楽療法)・カラオケ・DVD鑑賞】を実施しています。また、外出活動では工場見学、バーベキュー、体験活動、買い物等に出かけ、利用者様の特性に応じて各活動に参加して頂いています。



買い物活動



工場見学



みかん狩り



バーベキュー

生活介護事業は、以上のような作業活動とレクリエーション及び外出活動を交えた生活を送っています。心身の充実によって視野が広がり、自然と日常生活動作の向上やコミュニケーション(非言語含む)の向上に繋がっている利用者様もおられます。今後も利用者様に豊かで生きがいのある生活を送れるよう職員一同サポートして参ります。

青い鳥(生活介護事業) サービス管理責任者：片山智博

堺の車窓から Vol.8

今回、ご紹介する駅は南海高野線『堺東駅』です。市役所・裁判所・税務署などの官庁が集まる堺の中心部となっており、特急「泉北ライナー」を除く全ての列車が停車し、多くの方が乗降されています。

2016年度の高野線における一日平均乗降人員は59,769人で、南海電鉄全体の駅(泉北高速線の駅を除く100駅)の中で平均乗降人員数は第4位です。

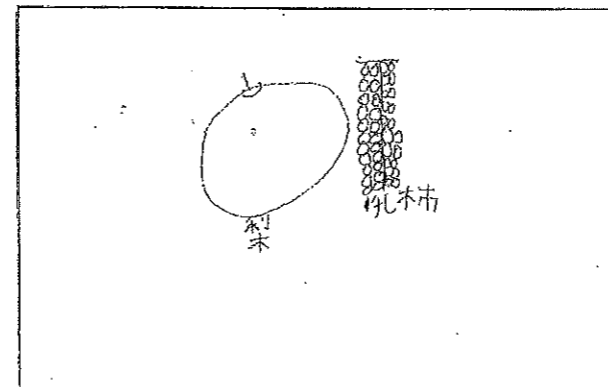
1898年1月30日に、高野線の前身である高野鉄道が開業(現在の堺東～狭山間)した際に、「大小路駅」として開業しました。その後、1900年9月頃に道頓堀(現在の汐見橋)駅に延伸した際に、現在の「堺東駅」へ改称しています。開業当時は、南海本線の堺駅や竜神駅(南海バス堺駅南口付近)が堺市中心部を担っていましたが、1944年の堺市役所移転や翌年の堺大空襲を経て、今では堺東駅が堺の玄関口として機能しています。

1964年には、高島屋堺店が入居する地上6階・地下2階建ての南海堺東ビルが竣工し、同時にバスターミナルも整備され、現在でも堺市の交通の要としての役割を担い、利用者数も堺駅を大きく上回っています。2016年3月3日には駅ナカ商業施設が新たに整備され、新規出店5店舗を含む12店舗がグランドオープンしました。

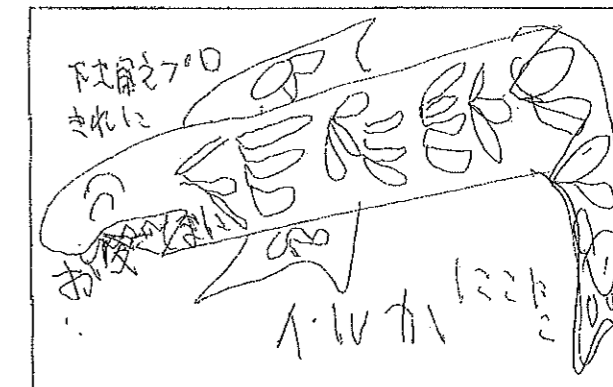
ちなみに、2000年に南海電鉄の駅で初めて行先案内盤にフルカラーLED(電光)表示を採用しています。



アーティスト・ノマド



上窪 美智子 さん
(青い鳥 就労継続支援事業B型)



下土居 敏裕 さん
(青い鳥 生活介護事業)